

「Old meets New 東京150年」事業について

今年には東京への改称、東京府開設から150年の節目となります。
この節目を記念し、江戸から近代、現代と連なる
伝統、歴史、文化、技術など、東京の都市としての魅力や力を
再発見・再認識できる事業を幅広く展開します。

ロゴについて



東京150年を機に、都民の皆さまに「伝統」と「革新」が共存する東京の魅力を実感してもらうために、「Old meets New 東京150年」のロゴマークを制作しました。
事業のPRにご協力いただける場合、申請により使用いただけます。
詳しくは公式ホームページでご確認ください。

主な事業予定

記念イベント

「(仮称) 東京150年祭」



時期：平成30年秋 場所：浜離宮恩賜庭園
内容：東京の過去、現在、未来を表現するプロジェクト
マッピングのほか、東京150年の魅力・文化を実感できる様々なコンテンツブースを展開。

企画展

江戸東京博物館や江戸東京たてももの園、東京都公文書館、都立中央図書館などにおいて「東京150年」を振り返る企画展を開催。

東京150年記念絵画コンテスト

次世代を担う小学生達を対象に「100年後の東京」などをテーマに絵画コンテストを実施。

その他にも区市町村や民間団体などの協力を得ながら、多彩な取り組みを展開していきます。
詳細につきましては、随時発信していきます。

未来へつづく、東京150年の創造力。

明治、大正、昭和、そして平成。東京は今年で150周年。そこに息づくのは、伝統と新しい価値が出会いながら、新しい時代を創り出してきたエネルギー。その力は日本の中で、世界に向けて、どんな東京の未来を届けてくれるのだろう。

150 years of creativity in Tokyo that will continue into the future. Meiji, Taisho, Showa and now Heisei. This year marks the 150th anniversary of Tokyo. What can be found in this city is a unique energy that has helped pave the way for a new generation while encountering past traditions and a new sense of values. What kind of future will that energy deliver to Tokyo within Japan and towards the rest of the world.



TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

復刻！懐かしのカッパバッジ

昭和30年から40年代に都内で幼少期を過ごした世代になじみのある「カッパバッジ」を復刻。カッパバッジは、1956年（昭和31）、太田道灌の江戸築城500年を記念して行われた「大東京祭」に由来します。毎年10月1日の「都民の日」を前に、宝くじ売り場などで販売され、都有施設の無料入場を認める際の目印などとして用いられました。



第22回
大東京祭
1977年（昭和52）
カッパバッジ

「Old meets New 東京150年」事業最新情報はこちら。

公式ホームページ

<https://www.tokyo-150.jp>

SNS(Twitter, Facebook, Instagram)でも、情報を発信いたします。詳しくは公式ホームページをご覧ください。 #tokyo150

公式ホームページ



問い合わせ先 東京都政策企画局調整部政策課 TEL.03-5388-2187 FAX.03-5388-1209
メールアドレス S0000669@section.metro.tokyo.jp
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2丁目8-1



写真でみる東京の150年

東京府が誕生して以来、大正、昭和、平成と、それぞれの時代ごとに変化し続ける東京。150年の歩みを写真で振り返ります。



1868年（慶応4）7月17日、江戸が東京へと改称されました。同年、旧江戸城に滞在中の天皇陛下から町民に対して、御酒が下されました。祝祭性に富んだ「江戸」の町民の気風は今に引き継がれています。



1868年（慶応4）9月2日には現在の千代田区内幸町にあった旧郡山藩邸を東京府庁舎としました。その後庁舎は1889年（明治22）に丸の内に移転した後、1991年（平成3）、現在の新宿に移りました。



東京は水都と呼ばれるほど水運が発達しており、要となるのが隅田川でした。多くの船が行き来し、川沿いには蔵が並び、水辺に集う人で橋もにぎわいがありました。



明治時代の都市交通は人力車から始まりました。その後、人口増加とともに馬車鉄道、路面電車と進化して都市活動を支えました。



江戸時代に「東海道」として発展した銀座通り。明治初期に西欧風煉瓦街へ生まれ変わり、時計塔も建てられ近代的な街並みに人々が集いました。



明治時代の「現世佳人集」を見ると、いち早く和装に洋装が混在しています。東京は文明開化以来、ファッションの最先端を引っ張っています。



浅草は観音堂を中心に芝居小屋や映画館が集まる、庶民の娯楽の街として発展。その象徴が十二階建ての望楼建築「凌雲閣」でした。



多摩と東京を一直線に結ぶ中央線の前身は1889年（明治22）開業の甲武鉄道。やがてさまざまな路線が敷設された後、通勤路線として多摩地区の人口増加を支えました。



江戸時代から継承されている江戸東京野菜。東京の島々が届ける新鮮な海の幸。伝統と革新に出会いながら、新しい食の楽しさを創り出しています。



渋谷川沿いに5つの鉄道路線が集まった渋谷。ターミナルとして発展し、1951年（昭和26）に作られた山手線を行き来する空中ケーブルカーが人気を集めました。



1964年（昭和39）10月10日、第18回オリンピック競技大会が東京で開催されました。国内における聖火リレーは全都道府県を回り、丸の内の都庁舎に集められました。



東京オリンピック直後に国際身体障がい者スポーツ大会が開催されました。「パラリンピック」という名称は、東京大会の際に日本で名付けられた愛称でした。



東京オリンピックの開催にあたり、各所に競技場が建設されました。またそれらを結ぶ首都高速道路なども整備され、その後の交通網発展の基礎となりました。



江戸の職人技術が発展した江戸切子、武士のなりわいから始まった東京組紐。培われた匠の技は、現代の生活に息づき、磨き上げられ、国内外から高い評価を受けています。



ウォーターフロントとして見直される隅田川。橋はライトアップされ、水上バスや屋形船が行き来し、東京の水辺の魅力を高めています。



小笠原諸島は2011年（平成23）に独自の生態系が高く評価され、ユネスコの世界自然遺産に登録されました。東京の島は豊かな自然があふれ、多様性のある文化も魅力のひとつです。



東京の新しいランドマークとして誕生した東京スカイツリー®。2012年（平成24）に開業した634mのタワーは、東京タワーに並ぶシンボルとして国内外の人々で連日にぎわいを見せています。



1日50万人、1回に3000人が渡るというスクランブル交差点がある渋谷。エネルギーな若者文化が生まれるこの街は、流行の発信地となっています。



東京の商業やファッションを牽引し続ける銀座。歴史と未来が出会い、進化する東京を象徴する街といえましょう。

東京では伝統と新しい価値が出会いながら、時代を創り出すエネルギーが生まれてきました。その力はラグビーワールドカップ2019™、東京2020大会、そしてその先の未来へと引き継がれていきます。

東京150年史

	1457（長祿元年） 太田道灌が江戸に築城
	1603（慶長8年） 江戸開府
	1867（慶応3年） 大政奉還
明治	1868（慶応4年） 江戸を東京に改称 東京府の設置 明治改元
	1869（明治2年） 太政官を東京に移す （事実上の東京遷都）
	1871（明治4年） 廃藩置県 品川県・小菅県 東京府編入
	1872（明治5年） 新橋・横浜間に鉄道開業
	1876（明治9年） 上野公園開園
	1878（明治11年） 伊豆諸島を静岡県から東京府へ編入
	1879（明治12年） 東京府会開会
	1880（明治13年） 小笠原を東京府に移管
	1882（明治15年） 上野動物園開園
	1889（明治22年） 東京市成立 大日本帝国憲法発布 新宿・八王子間に甲武鉄道開通
	1890（明治23年） 浅草に凌雲閣完成
	1893（明治26年） 多摩3郡、東京府に編入
	1898（明治31年） 東京市役所開庁
	1903（明治36年） 日比谷公園開園
大正	1912（大正元年） 有楽町の数寄屋橋周辺で 日本初のタクシー登場
	1914（大正3年） 東京駅開業
	1923（大正12年） 関東大震災
昭和	1927（昭和2年） 東京地下鉄道開業（浅草・上野間）
	1931（昭和6年） 羽田空港完成
	1932（昭和7年） 東京市が15区から35区に （人口世界第2位の大都市に）
	1941（昭和16年） 東京港開港
	1943（昭和18年） 東京府・東京市を廃止し東京都を設置
	1945（昭和20年） 東京大空襲 ポツダム宣言受諾
	1947（昭和22年） 35区を22区に整理統合 （練馬区が板橋区から独立し 23区特別区となる）
	1956（昭和31年） 開都500年を記念し大東京祭が開催
	1958（昭和33年） 東京タワー・国立競技場完成
	1962（昭和37年） 首都高開通 京橋-芝浦間
1964（昭和39年） 東海道新幹線開通 東京-新大阪間 東京オリンピック・パラリンピック開催	
	1968（昭和43年） 小笠原諸島返還協定 東京百年記念祭の開催
	1971（昭和46年） 多摩ニュータウン入居開始
	1989（昭和64年） 昭和天皇崩御「平成」に改元
平成	1991（平成3年） 新都庁舎落成
	1993（平成5年） 東京都江戸東京博物館開館 レインボーブリッジ開通 都政施行50周年式典開催
	2003（平成15年） 江戸開府400年事業の実施
	2007（平成19年） 第1回東京マラソン
	2011（平成23年） 小笠原諸島、世界自然遺産認定
	2012（平成24年） 東京スカイツリー®完成
	2018（平成30年） 東京150年 小笠原諸島返還50周年
	2019 ラグビーワールドカップ2019開催
	2020 東京2020オリンピック・ パラリンピック競技大会開催

※写真・画像提供：江戸東京博物館／郵政博物館／（公財）たましん地域文化財団／白根記念渋谷区郷土博物館・文学館／江戸切子の店華硝／龍工房